

水系ウレタン樹脂の新製品発売について

第一工業製薬株式会社

第一工業製薬(本社:京都、社長:津田章裕)は、このたび水系ウレタン樹脂に新製品**スーパーフレックス210**を追加し、製造・販売を開始いたしました。今回の新製品は、プラスチックのコーティングや塗料などの用途に幅広くお使いいただけます。

スーパーフレックス210は、プラスチック用コーティング剤として開発したポリエステル系ポリウレタン水分散体です。非常に高硬度で強靱かつ透明な皮膜を形成します。**スーパーフレックス210**は、従来品では不十分であったポリプロピレン(PP)、ポリエチレンテレフタレート(PET)、ポリエチレン(PE)などのプラスチックへの密着性において非常に優れた性能を発現します。床材や壁材として用いられるプラスチックは、傷つき防止や他の基材との接着性向上、着色などのためにコーティングが施されますが、リサイクルやリユース性の観点から、PPやPET、PEなどの採用が進んでいます。これらのプラスチックへ密着性に優れた樹脂を求めるユーザーの要望に答えるため、製品化に着手いたしました。

ウレタン樹脂全体の市場は約62万トン程度ですが、そのうち、水系ウレタン樹脂の市場規模は約2万トン程度と推定されます。今後この市場では従来型の溶剤系ウレタン樹脂からの置き換えや、水系ウレタン樹脂の新分野での採用が進んでおり、水系ウレタン樹脂の市場はさらに伸長するものと予測され、当社は市場の伸長に対応する販売を目指しています。

スーパーフレックスの販売先は、主に塗料メーカー、フィルムメーカー、接着剤メーカー、製紙メーカー、繊維メーカー、人工皮革メーカーなど広範な分野ユーザーです。水系ウレタン樹脂は、自動車、建築、木材、プラスチックの塗料、フィルム、シート、金属、紙、皮革のコーティング剤、繊維、フィルム、木材の接着剤、紙、繊維、不織布のバインダーなどとして使用されています。VOC(揮発性有機化合物)削減の中で、環境に配慮した水系ウレタン樹脂の適用分野が急速に広がっています。

以上

・本件についてのお問い合わせ先

第一工業製薬株式会社

広報IR室 TEL.075-255-0915

ご参考

水系ウレタン樹脂とは

ポリイソシアネートとポリオールを主原料として重付加反応によって得られ、さらにポリウレタン骨格中に水に安定に分散させるために必要な親水成分を導入するか、外部乳化剤を使用して分散することによって得られるポリウレタンの水分散体です。

水系ウレタン樹脂の基本構造は、フレキシブルなソフトセグメントと強固な凝集エネルギーを有するウレタン結合、ウレア結合からなる結合単位から形成されるハードセグメントから構成されます。よって、水系ウレタン樹脂は、この両セグメントのバランスにより、柔軟性と強靱性および弾性を兼ね備え、かつ密着性に優れた素材とする事が可能です。水系ウレタン樹脂は、他の水系樹脂として挙げられる酢ビ、エチレン酢ビ (EVA)、アクリル樹脂、エポキシ樹脂、合成ゴムラテックスなどと比較して、非常に強靱性を有し、硬くしても屈曲性に優れた特徴を有します。